

初めまして。私は熊本市中
央区上水前寺で開業している
小児科医で、子どもさんを相
手にしての生業なりわいをしていま
す。子どもさんは動物的本能
を持っていて、こちらが本物
か偽物か、すぐ見抜かれるの
で大変ですが、そこで私も動
物になったり人間に戻ったり
しながら診療させてもらって
います。

昨年から私たち熊本県民は
とても大変な月日を過ごして
います。ただ熊本地震が起こ
ったからこそ、学んだこと、
感動したこともありました。
連載では、前半6回は震災直
後と1カ月後、半年後に当院
で起きたことを記し、後半6

その判断は正しかったのか

回は皆さまが普段あまり気づ
かれない子どもさんのことに
ついて書きます。

震災直後の判断が正しけれ
たのか？と今でも考えている
ことがあります。本震の4月
16日、日の出を待ち車で出勤
すると、幸か不幸か到着して
しまい、見ると医院の損壊は
幸い軽微にとどまっています。
ただ医院の駐車場には、
近隣の方々が不安げに避難さ
れていたのには驚いてしま
い、一瞬ここを避難所にしよ
うかな、とも思いました。

小児科医

駒木 智

2017.4.6

ただ当院は開業以来、ずつ
と土日の診療をしています。
土曜日の今日は無理でも、明
日の日曜日には開けたい。そ
こで駐車場で避難されている
方々に、「すみませーん、こ
こは小児科医院です。明日は
病気の子どものために通
常通り開けます。今日はい
ですが明朝にはお引き取りく
ださい」と、言ってしまうま
した。災害時みんなが困って
いるのに、私の判断は正しか
ったのでしょうか？ 続きは
次回に。

